

## 一般社団法人日本医療薬学会 第100回医療薬学公開シンポジウム開催報告書

第100回医療薬学公開シンポジウム

実行委員長 座間味 義人

(岡山大学学術研究院 医療開発領域 薬剤部 教授・薬剤部長)

2025年11月1日(土)、岡山大学鹿田キャンパス 医学部鹿田会館講堂において、第100回医療薬学公開シンポジウム(主催:日本医療薬学会)を現地開催いたしました。対象は薬剤師、大学教員、薬学生、その他医療関係者とし、「多彩なデータサイエンスが織りなす医療薬学研究による変革への挑戦」をメインテーマに掲げて実施し、53名にご参加いただきました。

特別講演では、徳島大学大学院 医歯薬学研究部 医学域 臨床薬理学分野 教授・徳島大学病院 病院長補佐・薬剤部長・総合臨床研究センター部長の石澤啓介先生より、「未来をつくる医療薬学研究 ～データ駆動型アプローチの可能性と挑戦～」と題してご講演いただきました。電子カルテやレジストリなどの医療情報を活用したデータ駆動型研究の意義と課題、若手薬剤師・研究者に求められる視点についてわかりやすく示され、データサイエンス時代の医療薬学研究の方向性を再認識する機会となりました。

シンポジウムでは、岡山大学病院薬剤部および岡山大学の各分野から、データサイエンスを活用した取り組みについて5題の講演が行われました。

- 「病院薬剤師業務におけるデータ活用と業務効率化への取り組み」  
岡山大学病院 薬剤部 副薬剤部長 田中雄太 先生
- 「ゲノム情報を活用した医療・健康管理へのデータサイエンスの貢献」  
岡山大学大学院臨床薬学教育研究センター 薬学教育研究部門 講師 武田達明 先生
- 「多様なレジストリデータがつなぐ用量設計の新展開」  
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床基礎統合薬学分野 教授 山本和宏 先生
- 「疾患構造の可視化と予測に向けた臨床疫学とデータサイエンスの融合」  
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 薬学データサイエンス分野 教授  
ハイフォン医科薬科大学 名誉教授 小山敏広 先生
- 「医療情報を用いた薬物療法の質的向上への挑戦」  
岡山大学学術研究院 医療開発領域 薬剤部 講師・副薬剤部長  
九州大学システム情報科学研究院 学際情報学特別部門 准教授 濱野裕章 先生

また、閉会にあたり、日赤薬剤師会 会長・岡山県病院薬剤師会 会長・岡山赤十字病院 病院長補佐・薬剤部長の森英樹先生より、ご挨拶を賜りました。ご挨拶の中では、多様なデータを統合的に活用するデータサイエンスが、地域の疾病構造や医療ニーズの可視化、医療資源の最適配分、さらには病院と地域薬局・行政・大学の連携強化に大きく貢献しうることが強調され、シンポジウムのテーマとも響き合う、力強いメッセージとなりました。

最後になりましたが、ご講演を賜りました石澤啓介先生をはじめとする演者の先生方、企画・運営にご尽力いただきました岡山大学病院薬剤部のスタッフ、日本医療薬学会事務局の皆様、心より厚く御礼申し上げます。